

## 研究機関で雇用する特別研究員＝PD等の育成方針

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学は、先端科学技術の基盤となる情報科学、バイオサイエンス及び物質創成科学の3分野に係る研究の深化と融合を推進するとともに、優れた研究成果に基づく高度な教育により人材を育成し、もって科学技術の進歩と社会の発展に貢献することを目的として教育、研究及び社会連携活動に取り組んできた。

日本学術振興会が実施する「研究環境向上のための若手研究者雇用支援事業」により本学で雇用する日本学術振興会特別研究員＝PD等（PD、RPD、CPD）においては、本学が取り組んできた教育・研究及び社会連携活動の一翼を担い、最先端の研究成果を有機的かつ弾力的に展開し、次世代の価値を創造するグローバルな先導的人材へと成長するよう育成する。

具体的な取り組みは以下の8点である。

### 国際的研究活動等の推進支援策

- 国際学会参加支援等制度  
(国際学会への参加費及び旅費を支援する制度)

### 研究者間の交流支援策

- 若手研究者ネットワーク開拓ワークショップ制度  
(若手研究者がオーガナイザーとなり、リーダーシップを発揮して、国内外の若手研究者を招へいしワークショップを開催する経費を支援する制度)

### 外部資金獲得支援制度

- 若手の上位科研費チャレンジ支援  
(科研費申請で、過去に獲得している科研費よりも上位の費目に申請したものの、採択に至らなかった若手研究者に対し、研究費を支援する制度)
- URAによる外部資金獲得セミナーの開催  
(若手研究者を対象に、各種外部資金の制度内容や応募準備に向けたセミナー)

### 男女共同参画支援制度

- 出産時保育支援
- 一時託児支援
- ベビーシッター利用費補助
- 託児スペースの提供  
(これらの支援策により最先端研究との両立と成果の向上及びワークライフバランスの向上に資する)